



前より前へ! 長岡  
人が育ち 地域が輝く

# なが おか 市議会だより

179号  
2012.2.1  
編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画映像を配信中 → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sigikai/>



## おぐに雪まつり雪上エンデューロ大会（小国地域）

雪のコースを舞台にバイクレースが繰り広げられる雪上エンデューロ大会。今年は2月26日(日)に開催されます。

全国から集まったレーサーたちによる迫力満点のレースへ足を運んでみては？

## 平成22年度決算を認定

12月定例会招集日に、平成22年度一般会計・特別会計決算を賛成多数で、水道事業会計・ガス事業会計決算を全会一致で認定しました。

長岡市議会では、22年度決算を審査するために決算審査特別委員会を設置し、11月8日～10日の3日間、慎重に審議を行いました。

12月定例会の本会議では、一般会計・特別会計決算をめぐって、共産党市議団が市役所移転などを理由に反対討論を、市民クラブが経済雇用対策などを高く評価する賛成討論を行い、起立採決の結果、賛成多数で認定となりました。（決算に対する各会派の意見・評価は4ページをご覧ください。）



平成22年度一般会計・特別会計の決算を賛成33人、反対4人の賛成多数で認定しました。

## 姉妹都市のフォートワース市を公式訪問

1月9日～12日に、姉妹都市であるアメリカ合衆国のフォートワース市を、酒井議長と森市長が公式訪問しました。

長岡市とフォートワース市は、昭和62年の姉妹都市の締結以来、青少年の教育交流を中心に、スポーツや文化など幅広い分野で、市民レベルの交流を活発に行っています。

今回の訪問では、今年、姉妹都市締結25周年を迎えることから、記念事業として、長岡市から市民訪問団を派遣すること、フォートワース市から市民訪問団を受け入れることを決定しました。また、学生など若い世代の交流の拡大についても協議しました。



酒井議長（後列右端）と森市長がフォートワース市のプライス市長（前列左端）を訪問

## 長岡駅前へペDESTリアンデッキが開通

12月22日、長岡駅大手口にペDESTリアンデッキ（屋根付き高架歩道）が開通しました。

これまで市議会では、ペDESTリアンデッキの工事に関し、本会議や委員会、議員協議会で活発な議論を重ねてきました。

ペDESTリアンデッキの開通により、長岡駅から大手通りまで、雨や雪にぬれることなく行き来することができるようになりました。



開通式テープカットの様子

12月定例会

# 13人が一般質問

一般質問の主な質問と答弁の要旨を掲載します。



丸山 勝総 議員  
(3期・市民クラブ)

### 市長4期目の市政執行について

**問** 市長は、4期目に向けてどう取り組むのか。また、市の組織のあり方についてどう考えるのか。

**答** これまでの3期で、「市民力のまち長岡」という理念を大切にしてきた。今後も、市民生活に一番近い行政の立場で、市民の気持ちを理解し、その思いを反映した政策を進めたい。  
また、組織の縦割りという弊害があると、基礎自治体としての市町村の良さが生かされないと考えている。今後も、分野を超え、組

織を横断する政策立案システムを継続していきたい。  
**問** これからの都市間競争に対抗するには、本市が県内の拠点都市に発展するための戦略が必要となる。今後どのようなまちづくりを進めていくのか。

**答** 拠点都市として魅力高め、近隣自治体と一体化し、広域的にさまざまな資源を集めたまちづくりが必要になると考える。このため、中越地域全体の発展を目指す40万人都市構想を掲げ、中核市への移行も視野に入れた取り組みを行っている。また、本市と新潟市、三条市、聖籠町の4市町で、新潟港の利用促進による地域産業の活性化に取り組んでいる。今後、経済交流の流れをより大きくするため、港、空港、鉄道、高速道路などの交通インフラを利用し、県外や国外との経済、文化、観光など多方面での連携を強化していきたい。



古川原 直人 議員  
(3期・市民クラブ)

### 津波対策に係る緊急的整備について

**問** 寺泊地域の観光客向けに、高台への避難経路案内板を早期に設置する必要があると考えるがどうか。

**答** 土地勘のない観光客を高台へ迅速に避難させるための避難経路案内板の設置は、多くの観光客が訪れる寺泊地域にとって重要だと考えている。現在、寺泊中央海水浴場の駐車場など5カ所に津波避難場所の案内などが設置されている。しかし、緊急時に迷わずに高台へ避難させるには、避難経路の途中に表示を設けること

も必要だと考えている。県が検討を進めている津波対策との整合も図りながら、わかりやすい案内板の設置を検討していきたい。  
**友好親善都市との交流推進について**

**問** 旧寺泊町は昭和61年から伊勢崎市と交流を続けてきたが、今後、発展的な交流を推進するために、どのように取り組むのか。

**答** 旧寺泊町と伊勢崎市との交流は、合併後も地域固有業務として残してきたが、今年は寺泊地域だけでなく、市内全域から市民が交流に参加するなど、一層の交流が図られている。今後も充実した交流がさらに発展するように、市としても特に市民レベルでの取り組みを積極的に支援していきたい。

**もっと詳しい内容が知りたい方へ**

一般質問の詳細は、3月上旬発行予定の会議録、またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。

- 会議録のあるところ  
市役所（1階 市民情報ラウンジ、2階 情報公開コーナー、6階 議会事務局）、各支所、市民センター、市内図書館 など
- 会議録検索システム、インターネット録画中継  
⇒「長岡市議会ホームページ」へアクセス

長岡市議会

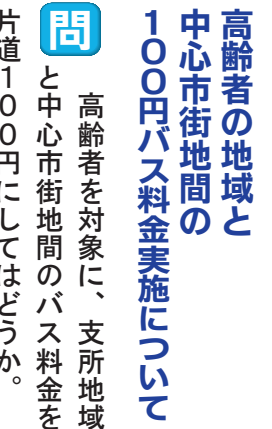


諸橋 虎雄 議員  
(3期・共産党市議団)

### TPP（環太平洋連携協定）について

**問** 国に対し、TPP交渉参加の撤回を強く求めるべきと考えるが、市長の見解は。

**答** 全国市長会では、10月にTPP交渉参加に関する緊急意見を決議した。これは、農林漁業や関連産業への影響を考慮するとともに、国民の食の安全・安心を守るよう慎重な対応を要請する内容となっている。今後も国に対して、各分野への影響について詳細に情報を開示するとともに、国民的合意を得た上で判断するよう、強く要請していきたい。



藤井 盛光 議員  
(1期・市民クラブ)

### 高齢者の地域と中心市街地間の100円バス料金実施について

**問** 高齢者を対象に、支所地域と中心市街地間のバス料金を、片道100円にしようか。

**答** 支所地域と中心市街地を公共交通で結び、維持するためにも、路線バスの利用促進を図ることが必要だと考える。  
現在、路線バスを維持する経費として、市単独で約1億3千万円の予算を計上している。今後の利用者の減少や、コミュニティバスへの対応などを考えると、これから市の財政負担が増加すると思われる。100円バスの実施は、バス事業全体の中で優先順位を踏まえ、導入の是非について検討したい。

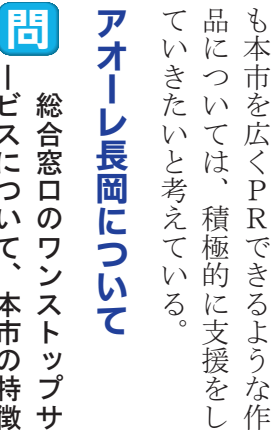


藤井 盛光 議員  
(1期・市民クラブ)

### シティプロモーションについて

**問** 市が制作を応援している長岡花火を題材にした映画は、平和の大切さを訴える内容だと聞いているが、こうしたテーマの映画の中には、事実と異なる描写が含まれているものも間々ある。市には正しい歴史認識に基づいて事業展開を進めてほしいがどうか。

**答** 本市の歴史をモチーフにした映画やテレビについては、制作者の表現や自由を尊重する必要があるが、多くの市民の共感と応援が得られるように、必要があれば意見交換も行っている。今後



高見 美加 議員  
(1期・市民クラブ)

### アオーレ長岡について

**問** 総合窓口のワンストップサービスについて、本市の特徴は何か。また、市民が利便性を実感でき、職員にも無理がない体制が重要だと考えるがどうか。

**答** 本市のワンストップサービスの特徴は、①窓口機能をアオーレ長岡の1階に集約したこと②手続きや相談の目的別に窓口を構成したこと③各窓口間で連携をとることなどが挙げられる。職員体制については、各手続きの内容や職員のスキル等を踏まえ、柔軟な職員配置をする。これにより、市民が利便性を実感でき、職員も負担を感じない窓口対応ができるものと考えている。



高見 美加 議員  
(1期・市民クラブ)

### 障害者支援について

**問** 昨今の経済状況も加わり、障害者の就労は厳しいものとなっている。本市で障害者雇用を促進するために、どのように取り組んでいくのか。

**答** ハローワーク長岡管内の障害者雇用率は1・59%で、新潟県の雇用率1・54%を上回っているが、法定雇用率の1・8%には達していない状況にある。  
民間事業者へは、長岡市雇用対策協議会で就職面接会、職場見学会、雇用制度の周知等を行い、雇用の確保を要請している。市では、障害者多数雇用事業者からの物

品等の調達制度」を設け、障害者を多数雇用している事業者から優先して物品を調達することで、障害者雇用を促進している。また、今年3月に、「働きやすい職場環境推進事例集」を作成し、障害者を雇用している事業者の取り組み事例を市内の事業者に向けて積極的に情報提供している。  
**問** 地域によってサービスに格差が生じないように、相談支援体制の強化と拡充が必要と考えるがどうか。

**答** 本市の相談支援体制は、本市の福祉課に専門相談員を4名配置しているほか、各支所において保健師が直接相談に応じている。さらに、相談支援センターを市内5カ所に設置し、相談業務を行っている。今後も、どの窓口や支援センターでも、丁寧に事情を聞き、情報を十分に提供できるように、関係機関と連携をとりながら相談支援体制の強化に努めたい。



笠井 則雄 議員  
(4期・共産党市議団)

### 柏崎刈羽原発30キロ圏内の 長岡市における 原発問題について

**問** 柏崎刈羽原発は佐渡海盆のそばにあり、海盆の東縁には地震を起こしやすい断層があると指摘されている。

**答** 柏崎刈羽原発の再稼働に対しては、国や東京電力に原発周辺の活断層の徹底調査と「絶対安全」とは言えない原発を再稼働しないよう積極的に働きかけるべきだと考えるがどうか。

**答** 原発の安全確保については、これまで国、県、東京電力に申し入れを行っている。活断層

の調査についても、県の技術委員会で議論が進んでいる。  
なお、再稼働については、安全に関する判断材料が整った段階で検討すべき課題だと考えている。

### JR第3福島江踏切の 歩道拡幅など改修事業について

**問** 宮内地区の踏切は、子どもたちの通学路になっているが、踏切上に歩道がないため非常に危険である。

**答** 市では歩行者の安全確保を優先するため、まずは宮内駅連絡通路へアクセスする駅周辺の歩道のネットワークづくりを進めるべきだと考えている。その中で、踏切の東側にある市道の歩道整備も含めた踏切の拡幅に向け、関係機関と協議を行っていききたい。

●その他の質問  
・中心市街地再開発について

できるよう、努力していく。

### 原子力防災対策について

**問** 今年11月に、国の原子力安全委員会の見直しにより、本市がUPZの範囲に入ったが、どう対応するのか。また、市町村による原子力安全対策研究会の現状は。

**答** UPZの区域で計画的な避難体制の構築、それを避難指示にどう結びつけるかなど、課題は多い。国、県、市町村の役割を明確にするような法整備も含めて検討していきたい。

市町村の研究会では、原発の安全性や避難計画などをテーマとし、研究を進めている。今後も、研究会を通じ、安全協定などの課題について検討する予定である。  
●その他の質問  
・TTP参加問題と農業支援策について



広井 晃 議員  
(1期・市民クラブ)

### 市内製造業と 新環境エネルギー産業との マッチング政策について

**問** 本市に新環境エネルギー産業を導入するために、市はどのように取り組むのか。

**答** 新環境エネルギー産業は、電気、機械、ITなどが相互に関連し、非常にすそ野が広く、大きなビジネスチャンスのある分野だと認識している。このような成長産業を積極的に取り込むため、今年度から、環境エネルギー分野の開発に対する補助金額を倍増した。また、大手企業による講演会の開催などを通じ、新しい分野への

の進出を支援している。  
**問** 特産の天然ガスや自然エネルギーによる発電など、地域の特性を生かし、新環境エネルギー産業に取り組むべきと考えるがどうか。

**答** 本市では、天然ガスや生ごみバイオガスなどを有効活用する「環境未来都市構想」を策定した。この構想の柱となるガス発電や再生可能エネルギーなどは、大きな成長が見込まれる分野である。今後も、このような分野にチャレンジする地域企業に対し、積極的に支援したいと考えている。

また、企業誘致については、高機能素材などを扱う環境エネルギー関連企業を対象とした誘致活動に力を入れている。市内企業の受注促進にもつながる取り組みであり、さらに強化したい。

●その他の質問  
・八方台休暇センター跡地の利用について



山田 保一郎 議員  
(5期・公明党)

### 合併周辺地域への 新しい対応について

**問** 地域の活動や防災の拠点となる各支所の耐震化を、市の責任で早急に進めることを強く要請するがどうか。

**答** 支所庁舎は、災害時に地域の住民の安全を確保する上でも非常に重要だと考えている。現在、耐震改修が必要な庁舎は、栃尾、川口、与板の3支所である。これらの庁舎は、建築から30年以上が経過し、建物の老朽化も進んでいることから、耐震改修とともに空調などの設備改修も必要になると思われる。従って、今後は改修費

用や建物の耐用年数を精査し、具体的な対応策について早急に検討していきたいと考えている。  
**問** 合併地域の多くは高齢化率が高く、介護施設の整備も遅れている。特別養護老人ホームがない和島地域、山古志地域について、今後どう対応するのか。

**答** 平成21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画では、特別養護老人ホーム待機者の解消に向けた施設整備を中心に取り組んだ結果、582人分の施設整備が完了見込みとなっている。

今後の施設整備については、和島地域、山古志地域を含む各地域で行っているニーズ調査の結果を踏まえ、介護サービスの供給体制の状況などを十分に把握した上で、現在策定中の第5期計画でしっかりと対応していきたい。

●その他の質問  
・長岡市におけるパークアンドライドの対応について

### 第5期介護保険事業計画について

**問** 来年度から開始される24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスについての検討状況はどうか。

**答** また、本市における特別養護老人ホームの施設整備状況はどうか。

**答** 全国的に懸念されている深夜、早朝のホームヘルパーの人材確保に関しては、本市においては大きな問題はないと考えている。利用料金の設定や、深夜訪問に対する同居家族の抵抗感の軽減など、利用者側の不安を解消するようなきめ細やかな制度設計が必要だと考える。

特別養護老人ホームについては、平成26年度末までに、緊急性の高い方の全員が、施設に入所できるように整備を進めていく予定である。



杉本 輝榮 議員  
(3期・民成クラブ)

### 長岡のへき地保育園について

**問** へき地保育園の現状と課題は。また、保育時間延長は可能か。

**答** 少子化や、近隣の認可保育園へ通う子どもの増加などにより、近年、へき地保育園に通う園児数が減少している。園児の減少により、社会性をはぐくむ集団での活動ができなくなるほか、運営経費も、認可保育園に比べて3倍近くかかるという実態もある。

開園時間を認可保育園と同様にするのは難しいが、今までも農繁期などには時間延長をしてきている。今後も、個別の要望にも対応



関 充夫 議員  
(2期・しん長岡クラブ)

### シティプロモーションについて

**問** 市はシティプロモーションにより何を指すのか。すばらしい取り組みを行っている子育て・教育施策をもっと発信していくべきではないか。

**答** 本市のシティプロモーションが目指すものは、「長岡市」を市民が誇れるまちにすることで、そのことがまちづくりの原動力である市民力と地域力を一層高めることにつながると確信している。

シティプロモーションはあらゆる分野に波及効果をもたらすが、



山田 保一郎 議員  
(5期・公明党)

### 成年後見制度について

**問** 成年後見制度を悪用し、親族によって財産が使い込まれる被害が増加している。これを防止するためにも、第三者の後見人として、弁護士など専門職以外の市民後見人の養成が必要と考えるがどうか。

**答** 現在、成年後見人は充足し

ていると市では認識している。しかし、今後、認知症高齢者などが増えることにより、制度利用者の増加も見込まれる。成年後見人の確保には、市民後見人の養成も有力な方法と考えていることから、今後検討していきたい。

※1 海盆：深海底にある盆地状のくぼ地。

※2 UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）：環境モニタリング等の結果を踏まえ、避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等を準備する区域。原子力施設を中心として半径約30キロの区域までが目安とされている。

## 平成22年度一般会計・特別会計決算 各会派の意見・評価

### 賛成 市民クラブ

経済雇用対策として身近な社会資本への先行投資を行い、地域経済の下支えを果たしたことを評価する。「長岡の顔づくり」として、アオーレ長岡など中心市街地の整備に取り組むとともに、ケーブルテレビ網の拡大など支所地域での整備も進んだ。各種ワクチンの接種無料化により子どもの健康増進を図った。今後も緩やかな合併を目指した「長岡方式の合併」の価値向上を望む。

### 賛成 しん長岡クラブ

長引く景気低迷の中、市民生活向上のため、すべての面でしっかり予算措置されていたと感じている。景気低迷のときこそ行政が主導し、景気の下支えをしていくことが、地域や市民のためになることと思う。今後とも、使うところは使い、抑えるところは抑えるという姿勢で取り組んでもらいたい。

### 賛成 民成クラブ

平成22年度は、防災拠点と都市公園、子育て施設を一体とした社会資本整備やエンジン01オープンカレッジの開催などを通じて、長岡の魅力を大いにアピールできたと思う。また、生活関連では若者の就労支援、中小企業の資金繰り支援などが切れ目なく実施された。今後とも引き続き、市民満足度の向上に向けた施策の展開を期待する。

### 賛成 公明党

経済・雇用対策を最重要課題とした社会資本整備への先行投資や中小企業経営安定のための特別融資の延長、臨時職員の雇用拡大は、経済の下支えとして重要な政策である。また、学校の耐震化、学校遊具等の安全対策、子宮頸がん等のワクチン接種の無料化や子育ての駅ちびっこ広場・まちなか絵本館の整備等の子育て支援策を高く評価する。

### 賛成 無所属の会

不況が長期化する中、市の先導的役割が発揮され、将来に備えた社会資本整備への投資が積極的に進められた。地元中小企業と雇用を守る施策に力点が置かれ、学校の耐震化や校舎の増改築等優先度の高い事業を確実に進めたほか、増加する就学援助や生活保護費にも手当てをし、母親の要望が高かった子宮頸がんワクチン助成に踏み切ったことを大いに評価する。

### 反対 共産党市議団

小・中学校の改築工事促進、公園などの遊具改善等は評価しているが、市役所移転新築、屋根付き高架歩道（ペDESTリアンデッキ）の建設、公費によるハワイでの花火打ち上げ、学校給食調理業務民間委託などに問題がある。また、特別会計の国民健康保険事業や介護保険事業なども住民負担が増大しており反対である。

## 市議会の活動状況

### ●議会運営委員会

- 11月8日 12月定例会の会期の決定について
- 12月2日 12月定例会の運営方針について
- 6日 12月定例会招集日の運営方針について
- 19日 12月定例会最終日の運営方針について

### ●特別委員会

- 11月8日～10日 決算審査特別委員会
- 14日 克雪・危機管理・防災対策特別委員会
- 14日 少子・高齢対策特別委員会

### ●議員協議会

- 1月24日 ハワイ・ホノルル市との姉妹都市締結について



## 議員の活動を紹介します

12月2日、スポーツ振興議員連盟が、市内のスポーツ施設の視察を行いました。今回の視察先は、悠久山野球場の改修工事現場、中之島体育館の改築工事現場、そして今年度新たに整備されたニュータウン運動公園のサッカー場の3カ所です。また、12月22日には、農業振興議員研究会がTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について、講師を招いて研修を行いました。



新たに磁気反転式表示のスコアボードとバックスクリーンを設置した悠久山野球場を視察（スポーツ振興議員連盟）



TPPによる農業への影響についての研修（農業振興議員研究会）

### 生活保護受給者の自立支援について



藤井 達徳 議員  
(3期・公明党)

**問** 釧路市の自立支援プログラムは、生活保護受給者がステップアップしながら自立できるよ  
う体系化されている。本市も釧路  
方式を参考にしながら、支援体制  
の整備を図ってはどうか。  
**答** 市では平成18年度から自立  
支援プログラムを実施してき  
た。本市における生活保護の保  
率は、釧路市の約10分の1だが、  
生活保護世帯は増加傾向にある。  
保護開始後はできるだけ早く自立  
した生活が送れるように支援する  
ことが極めて重要なので、今後、

### 求職者支援制度について

釧路方式の自立支援策も参考にし  
ながら、支援プログラムの拡充や  
支援体制の整備を進めていきたく  
と考えている。

**問** 求職者支援制度に対する現  
段階での評価と、今後の制度  
の有効活用について、市の考えは  
どうか。  
**答** 求職者支援制度は、雇用保  
険を受給できない方が、職業  
訓練を通じ早期に就職すること  
を目指して10月から始まった国の支  
援制度である。この制度は就職に  
向けての手厚い制度になっており、  
積極的に就職する意欲がある方に  
とっては大変有意義なものだと考  
えている。

### 集中豪雨時の 下水道の雨水問題について



木島 祥司 議員  
(1期・共産党市議団)

**問** 今年7月の新潟・福島豪雨  
災害や、近年多発する局地的  
豪雨の状況からしても、本市でも  
治水・浸水対策は早急に行わなけ  
ればならない。集中豪雨時の下水  
道雨水対策はどのようになってい  
るのか。  
**答** 本市では、平成14年3月に  
「長岡市都市雨水対策計画」  
を策定した。この計画では、河川  
改修と下水道管渠やポンプ施設を  
一体的に整備することにより、7  
年に1度の確立で発生する豪雨に  
対応することを目標としている。

**問** 7月の豪雨災害時は、柿川  
の越水の影響が小さいと思わ  
れる新町地区にも大きな被害が出  
た。降雨状況によっては、中央浄  
化センターの処理能力を超える場  
合もあり、早急な下水道対策が必  
要と考えるがどうか。  
**答** 集中豪雨による浸水被害に  
対しては、暫定的な対策とし  
て、交差点内の排水不良箇所の改  
良や、可搬式の排水ポンプによる  
緊急排水などの実施により、被害  
の軽減に努めたい。

また、雨水対策には多額の経費  
と時間を要することから、今後も  
河川改修と連携しながら、効果的  
な対策を進めていきたい。  
●その他の質問  
・国民健康保険の問題について

## 行政視察を報告します

議会の政策立案機能を充実・強化し、今後の市政に反映させるため、長岡市議会では毎年、先進都市の行政視察を行っています。今号では、今年度、行政視察を実施した議会運営委員会と各常任委員会の視察報告を掲載します。視察報告の全文は、市議会ホームページでご覧いただけます。

### 議会運営委員会

視察日程：平成23年11月15日～17日

#### 兵庫県神戸市「議会活性化に向けた改革検討会」

神戸市会では活性化に向けた改革検討会を立ち上げ、検討項目を洗い出し、議会各会派の代表と正副議長で改革案をまとめるべく検討が行われていました。



#### 兵庫県尼崎市「議会改革および議員定数削減」

尼崎市議会においても議会のあり方検討委員会が立ち上げられ、短期・長期と項目を分けて検討計画を立てて検討がなされていました。さらに財政状況の悪化を踏まえ、議員定数の削減についても議会で検討がなされています。

#### 三重県四日市市「議会基本条例および議員提案による条例」

四日市市議会においては、議会活性化のために議会基本条例を制定したほか、議員提案による条例制定に積極的に取り組んでいます。また定例議会にこだわらない通年議会方式をとっていました。議会事務局が概要説明をした後、議長が詳細な議会改革の話をしてくださいました。さまざまな資料を用意していただきましたが、議会改革の資料だけで81ページもありました。その中には議案聴取会の実施や議員政策研究会、予算・決算議案の審査方法など、活性化に向けた議会のさまざまな行動が記してありました。さらに議会の透明化を図るために議会報の充実やテレビ放送、シティミーティングという議会報告会の開催など、さまざまな取り組みを実施していました。

3市を行政視察してきたわけですが、共通していたのは議会が二元代表制の一方として役割を期待されながら、近頃は「市長に対するチェック機能が十分でない」「政策提案に積極的でない」「議会の活動がよくわからない」などの意見の方が目立つことから、それを逆に議会に対する市民の関心の高まりととらえ、議会の機能と役割強化のために議会自ら活性化に向けて取り組んだことです。今回の視察において印象的だったのが四日市市議会でした。議会の活性化は議会の自助努力もさることながら、選挙民＝市民の行動が議会を活性化の方向に向けてと言われたことです。市民が望むことに応えるのが議会ですので、市民の行動がさらなる活性化につながっていきますし、そのため各議員は切磋琢磨しなければならぬと示唆されました。長岡市議会がさらに前進するために、四日市市での議長説明は現場でしか聞けない素晴らしい視察となりました。（報告：関 充夫）

### 総務委員会

視察日程：平成23年10月19日～21日

#### 茨城県つくば市「新市庁舎の概要」

昨年完成した新庁舎におけるワンストップサービス事業や太陽光発電システムの導入による環境負荷軽減効果などを説明したくとも、議場や1階の窓口フロア等を見学しました。ワンストップ窓口のすぐ近くに利用頻度の高い課を配置しており、「お客様を歩かせない、待たせない」のおもてなしの心が行き届いていることを強く感じました。今日の行政業務は複雑化していることから、窓口サービス員は知識や経験を持ちつつも、ほかの部署とスムーズな連携を密にしていけることが何よりも重要であると感じ、来年度オープンするアオーレ長岡における市の窓口体制づくりにおいて大変参考になる視察でした。



#### 東京都荒川区「荒川区防災センターの概要と区の防災の取り組み」

荒川区防災センターは区の災害対策活動の拠点となる施設で、館内には災害対策室のほか無線室や展示コーナーもあり、区民が見学しながら防災を学ぶ施設にもなっています。また、防災体制は防災区民組織を中心とした避難援助体制が確立されており「自分たちの町は自分たちで守る」という意識を住民がしっかりと持っています。そうした活動に対し、区も活動助成金をはじめとしたきめ細かな援助を行っており、住民と行政が一体となった防災活動が展開されていることを強く感じました。

#### 荒川区「住民幸福度の指標化と自治総合研究所の概要」

区では、区民一人ひとりが幸福を実感できる地域社会を目

指すことを目的に区民の幸福度を指標化し（GAH：グロス・アラカワ・ハピネス）、その動向を分析するとともに区政運営にも反映させています。区民全員が幸せを実感できるようなサービスを提供することが区の職務であるという考え方の下、職員自らが自己啓発に取り組んでおり、行政職員のあるべき姿として見習うべきと感じました。

#### 三重県松阪市「地域指定型ふるさと納税」

松阪市では、ふるさと納税において納税者が支援したい住民協議会を指定できる「地域指定型ふるさと市民サポート制度」を導入しました。これにより納められた寄付金は、地域自らがその活用方法を決定することができることから、地域住民によるまちづくり活動が活発化するとともに、地域の自立および地域が望む地域づくりの推進を促していくものもあります。長岡市におけるふるさと納税の運用面においても、大変参考となるものでした。（報告：長谷川 一作）

### 文教福祉委員会

視察日程：平成23年10月18日～20日

#### 香川県高松市「小中一貫教育」

少子化による学級維持の困難を迎えるに当たり、中心市街地の三つの小学校と二つの中学校を統合し、9年制の小中一貫教育を実施する「高松第一学園」の設立経緯や問題点について意見交換をしました。学校の統廃合、小中一貫教育の実施において、さほど大きな反対はなかったこと、子どもは大人と違い、環境の変化に柔軟に対応すること、統合により教職員等の人員削減が達成されたことを確認しました。



#### 愛媛県四国中央市「発達支援センター」

発達障害を持つ児童に対し、市が生涯にわたって支援プランを策定する「発達支援センター」の設立経緯と運営について意見交換をしました。このプロジェクトの面白い点は、一人の市職員が現場の意見を市長に直訴し、結果として推進力に弾みがついて現状成功していることです。発達障害について理解不足の親に対しても情熱を持って説得に当たり、子どもに対しては自分の福祉現場での経験を生かして親身に接する。さまざまな部署が連携して「個別支援計画」を作成する。こういった行政の心意気が通じたためでしょう、四国中央市において支援児童数の割合は、全国平均の倍以上になっています。官僚機構の中においても、信念を持って職務にあたる職員の存在がいかに大きいかを実証するケースではないでしょうか。あえて問題点を挙げれば、本プロジェクトは前述のようにカリスマ職員一人のリーダーシップによって成り立っており、プロジェクトの維持には人材育成が必要な点だと感じました。

#### 高知県高知市「いきいき・かみかみ百歳体操」

高知市においては、介護保険の新規認定者のうち約7割が要支援および要介護1であることから、基礎運動能力を向上させることにより介護保険受給者数に歯どめをかけるべく推進されている「いきいき・かみかみ百歳体操」の実施状況と今後の展望について意見交換をしました。高齢者においても、いすの立ち座りなどを実施することにより、基礎体力が数値の上でも有意に向上することが確認できました。ビデオでは、つえなしでは歩くのもままならなかった老人が、スタスタと歩けるようになる様子が記録されており、感銘を受けました。また受講者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）の向上も確認できました。（報告：藤井 盛光）

### 産業市民委員会

視察日程：平成23年10月24日～26日

#### 愛知県新城市「市・JA・農林業公社のワンフロア化」

農業課題である後継者不足、優良農地の確保、集落営農への誘導試行等が抱える問題の解消のため、従来は各機関ごとに行っていた手続きを、新城市役所、愛知東農業協同組合、(財)農林業公社しんしろの3団体から構成される組織で市役所内に農業振興対策室を設け、農業の窓口一本化を行っています。合併した長岡市にとっても、利用者利便性を考慮した参考になる行政サービスです。

#### 愛知県一宮市「市民が選ぶ市民活動支援制度」

この制度は、市民税の1%を市民活動の財源として、18歳以上の市民による直接投票で得ることのできる市民活動団体

への支援金支給制度です。活動分野ごとに市民グループがエントリーし、その活動内容を市民にプレゼンテーションを行い、賛同する市民の投票により、支援金額を決定する画期的な制度です。長岡市でも市民活動を積極的に支援していますが、一宮市のこの制度は、今後の長岡市においても参考になるものでした。

#### 愛知県豊田市「環境モデル都市アクションプラン」

豊田市は、平成21年1月に「環境モデル都市」として国から選定されました。それを受け平成21年度から平成25年度までの5年間の取組計画をまとめたプランを策定しました。このプランは、豊田市の特徴・強みである「交通」「産業」「森林」の三つの分野の取り組みを柱に「都心」を先進環境技術の集約の場・国内外への情報発信の場として見える化を図り、「民生」の取り組みを各分野の支えとして位置付け、活力ある低炭素社会を目指しています。プラグインハイブリッド車（PHV）と充電施設、次世代エコカー購入支援などは、地域の特性が出ています。都市全体のハイブリッド化の取り組みは、手本とするところが多いと感じられました。



#### 静岡県浜松市「西部清掃工場の余熱利用」

西部清掃工場は、一般可燃ごみなどを1日に450トン処理でき、同時に発電などの余熱利用を行っています。この施設は、環境保全を考えた環境共生施設です。循環型社会を支えるために燃焼熔融炉で廃棄物の灰分を溶かし、砂状の水砕スラグにしてアスファルトなどの材料にしています。ごみを燃焼する際に発生する熱や蒸気を回収し、温水や電気をつくり、清掃工場だけでなく隣接するプールで有効利用しています。これからの市有焼却炉の老朽化による更新計画策定の上で大変参考になる視察でした。（報告：広井 晃）

### 建設委員会

視察日程：平成23年10月17日～19日

#### 愛知県名古屋市「自転車通行環境整備モデル事業および基幹バスシステム」

名古屋市の自転車通行環境整備モデル事業は、幅の広い歩道を利用して植栽帯の設置や異なる舗装材の使用などにより、物理的・視覚的に自転車と歩行者を分離し、自転車走行空間の整備を図り、自転車と歩行者が安心・安全で快適な利用を実現しているものです。また、基幹バスシステムは、道路中央専用バスレーンや専用優先信号の設置、地下鉄並みの停留所間隔と目標標定速度（停車時間を含めた全区間の平均速度）時速25キロなど、利用者の増加や標定速度の向上が図られている事業でした。



#### 滋賀県大津市「中心市街地活性化」

大津市では、平成20年に中心市街地協議会を設置し、大津商工会議所・(株)まちづくり大津等とともに駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出、町屋等の活用による複合的都市機能の充実、琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化を目標に掲げ、5年計画で地域独自のアイデアを実行しています。リーディングプロジェクトとして、なぎさ公園テナントミックス施設整備事業や琵琶湖湖畔エコツーリズム事業「湖（海）の駅」整備、社会教育会館（旧大津公会堂）テナントミックス施設整備事業を展開し、目標を超える集客実績を上げてきているとのことでした。歴史資源を生かしたまちづくりにも取り組んでいて、さまざまな民間の活力利用の大きさ、巧みさがとても参考になりました。

#### 富山県富山市「おでかけバス事業および自転車市民共同利用システム」

富山市は、平成20年「環境モデル都市」に選定され、CO<sub>2</sub>削減、コンパクトな「自動車に頼らず、歩いて暮らせるまちづくり」を推進するため、公共交通の利便性の向上に取り組んでいます。おでかけバス事業は、車を自由に使えない市民も日常生活に必要な機能を楽しむことができるよう、平成16年から65歳以上の高齢者が中心市街地から市内全域どこでも100円で利用できる事業で、平成20年からはおでかけ電車、平成23年度からはおでかけ路面電車を展開するとともに、おでかけ定期券のIC化などサービス拡大を図って実績を上げています。自転車市民共同利用システムは、運営は民間の事業者が担い、事業は主にステーションの広告宣伝の収入によって賄われており、事業も順調とのことでした。国の補助金や市費を投入し、1年余りで事業化を成し遂げた富山市の行政力は非常に見習うべき点が多くありました。（報告：高見 美加）

# 12月定例会 議決結果

## 会派別議案賛否一覧表

12月定例会は、12月6日から19日までの14日間の会期で開かれました。

この定例会では、13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。また、平成23年度一般会計補正予算を中心に議論し、市長提出議案37件をそれぞれ右表（会派別議案賛否一覧表）のとおり議決しました。

### 12月定例会

○：議案に対して会派全員が賛成 ×：議案に対して会派全員が反対

#### 各種行政委員の選任・推薦に同意

12月19日の本会議最終日、次の方を選任・推薦することに同意しました。

##### ○固定資産評価審査委員会委員

- 金内 茂 氏（再任）
- 渡辺 幸子 氏（再任）
- 稲庭 達夫 氏（新任）

##### ○人権擁護委員

- 菊地 泰法 氏（新任）

#### 会派別所属議員

市民クラブ	丸山 勝総 松井 一男 丸山 広司 藤井 盛光 広井 晃 古川原直人 五井 文雄 大地 正幸	関 正史 長谷川一作 高見 美加 浮部 文雄 加藤 尚登 高野 正義 小熊 正志 矢野 一夫
しん長岡クラブ	永井 亮一 山田 省吾 水科 三郎	杵淵 俊久 関 充夫 鈴木 正一
共産党市議団	笠井 則雄 木島 祥司	諸橋 虎雄 細井 良雄
民成クラブ	佐藤 伸広 加藤 一康	杉本 輝榮 小坂井和夫
公明党	藤井 達徳 山田保一郎	中村 耕一
無所属の会	大平美恵子 桑原 望	
無所属	西澤 信勝 酒井 正春（議長）	関 貴志

議案	会派名 ( )は所属議員数	市民クラブ	しん長岡クラブ	共産党市議団	民成クラブ	公明党	無所属の会	西澤信勝議員	関貴志議員	議決結果										
		(16)	(6)	(4)	(4)	(3)	(2)													
決算	決算の認定（平成22年度一般会計・特別会計）（継続分）	○	○	×	○	○	○	○	○	認定										
	決算の認定（平成22年度水道事業会計・ガス事業会計）（継続分）	○	○	○	○	○	○	○	○	認定										
専決処分	平成23年度長岡市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	承認										
補正予算	平成23年度長岡市一般会計	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決										
	平成23年度長岡市国民健康保険事業特別会計 ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決										
市長提出議案	制定	長岡市トキと自然の学習館条例								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	一部改正	長岡市の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例 ほか7件								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	廃止	長岡市まちなかホール条例								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	町（字）の区域および名称の変更 3件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市道路線の認定および変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	契約の締結（シティホール（仮称）アリーナ棟家具等）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	契約の締結（悠久山野球場）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合を組織する地方公共団体の数の減少および三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合規約の変更 ほか1件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人事	指定管理者の指定（悠久山プール） ほか8件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

### 842人が本市を視察

長岡市議会では、本市の事業や取り組みについて全国の議会関係者の視察を受け入れています。

平成23年は、全国の100団体から842人の方が視察に来られました。

#### ＜主な視察項目＞

- 防災対策、市民防災センター
- 山古志地域の復旧状況
- 防災シビックコア地区整備、消防庁舎
- 東中学校の避難所機能
- 復興計画、メモリアル拠点整備 など



（写真上）市民防災センターを視察する東京都板橋区議会の皆さん（7月20日）  
（写真左）山古志地域の復興住宅を視察する岩手県大槌町議会の皆さん（11月17日）



### 現議場で最後の定例会！

## 3月定例会を傍聴しませんか？

#### 本会議

- ・開会 午後1時
- ・受付 午後0時30分から本庁舎7階にて
- ・定員 65人（車いす利用者2人分含む）
- ・手話通訳をご希望の方は、1週間前までに議会事務局まで

#### 委員会

- ・開会 午前10時
- ・受付 午前9時30分から議会事務局（本庁舎6階）にて
- ・定員 7人

※3月定例会の日程は2月上旬に決定します。

### ホームページで議会情報を発信中！

本会議や常任委員会、特別委員会の録画が市議会ホームページでご覧いただけます。議会の日程や議案の内容、会議録なども載っていますので、ぜひアクセスしてみてください。

長岡市議会

